

大型連休を控え感染拡大第4波から区民の命、暮らしを守れ



4/20 北川副区長に行なう

1、感染封じ込めのために

- ①国に対し大規模検査、十分な補償、医療機関への減収補填など支援を行うよう求めること。
- ②東京都に対し、今回のスクリーニング検査を、頻度を週1回以上、すべての医療機関、すべての障害者福祉関係事業、保育園などにも拡大するよう求めること。
- ③東京都に対し、変異株検査を全陽性検体に対して行うよう求めること。
- ④区内でクラスターの予想される分野へのスクリーニング検査を実施すること。
- ⑤PCR検査が出来る区内医療機関を公表すること。
- ⑥無症状者のPCR検査に対する区としての独自助成制度を創設すること。
- ⑦区として医療従事者への独自支援を検討、実施すること。
- ⑧連休中の検査体制の維持や感染症拡大などへの対応のため、必要な体制をとること。



2、ワクチン接種をすすめるために

- ①医師会とも協議し、個別医療機関での接種、および訪問接種を具体化をすること。
- ②接種会場に行けない区民（高齢者、障害者など）に対する移動手段（送迎、タクシー券配布など）の具体化を
- ③区としても医療従事者へのワクチン接種を最優先すること。



3、区民の暮らしと生業を守るために

- ①区内事業者のコロナ禍での事業実態調査を行うとともに、独自の「事業継続支援」を検討実施すること。
- ②東京都に対し、協力金について、遡及申請、象拡大など求めること。
- ③連休中の検査、福祉、医療、経営などの相談窓口の設置を行うこと。
- ④生活困窮者などへの緊急対応窓口の設置など具体的支援体制を構築すること。
- ⑤生活保護の扶養照会について、本人同意以外の扶養照会をやめること。
- ⑥図書館、ふれあい館などの区施設について、より徹底した感染防止対策を実施し、区民の居場所としても継続して利用できるようにすること。

2021年4月20日

日本共産党荒川区議会議員団



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています
日本共産党荒川区議員団
小林行男
ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 814

2021. 4. 25

区議会控室

TEL 3802-4627

FAX 3806-9246

Email: arajcp@tcn-catv.

ne.jp

ホームページ

<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpara/>

jp/~jcpara/

東尾久相談室

東尾久2-37-3

TEL・FAX

3895-0508

法律相談会



毎月第3火曜日（午後6時から）北千住法律事務所
の弁護士による法律相談会
をおこなっています。
できるだけ事前にご連絡く
ださい。

**5月の相談会は
5月18日（火）**

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所にて、ご相
談できますのでお気軽に声をかけてください。

しょうぶ湯に 入りませんか

小学生以下のお子さんは、
入浴料が無料になるほか、各
銭湯で先着48名のお子さんに
缶ジュースがプレゼントされ
ます。

ご家族でのんびり、ゆっく
りすごしてはいかがでしょう
か？
※詳細は各銭湯
にご確認ください。



主催*荒川区公衆浴場組合

しょうぶ湯

5月5日

こどもの日

5月5日の端午の節句に菖蒲の根や葉を
湯船に浮かべたしょうぶ湯に入れば
悪病にかからぬと言われてきました

当日ご入浴される
小学生以下のお客様は
入浴料無料!

さらに
先着48名のお子様には
**缶ジュースを
プレゼント!**
(カルピスウォーター350ml)

東京都公衆浴場組合 荒川支部

女子医大東医療センターの移転後の病院整備の現状



現在の東医療センター

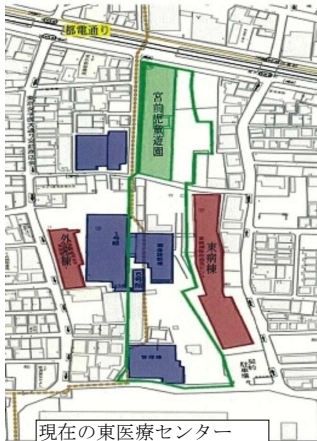
2021年度中と公表されていますが、足立の新病院が7月に竣工といえますので早

移転はいつ・・・

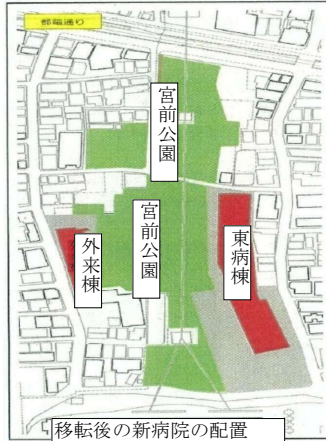
区は、正志会と経費の負担や建物等の賃料については現在協議中。9月末までを目途に合意をめざし、11月には基本協定を締結したいとしています。

東京都は、4月1日付けで新病院（正志会）に対し、当初の申請どおり240床（うち災害100床、感染症50床）が配分しました。診療科目は、内科、外科、小児科、救急科、整形外科、婦人科など。

4月20日の区議会に女子医大移転後の病院整備の進捗状況について報告がありました。



現在の東医療センター



移転後の新病院の配置

日医大病院と連携し、外来診療に必要な体制を確保するとともに、各病棟に医師を配置する。

現在、女子医大に通院している方が、引き続き利用しようとする場合、ライナーか、バスになります。直通バスの運行なども必要になるのではないでしょうか。



足立区江北に建設中の新病院

まるのでは？
新病院の開業は？
女子医大が移転後、改修なども行われるため、4ヶ月程度は、外来の空白期間ができるのではないかとはいわれています。

新たな防災協定・・・ドローン活用！



区は（株）スペースワンと無人航空機を活用した支援業務に関する協定を締結することの報告がありました。

災害時の被害状況等を安全かつ俯瞰的に把握することできるとして、情報収集体制の強化を図るため、無人飛行機による空撮・調査やパイロット養成事業を展開し、総務省消防庁等と協定締結実績のある同社と協定を締結することに。

これまで、区は8箇所の高所カメラで区内の状況把握をしてきましたが、その補完するためとしています。災害の種類や規模によっては、貴重な情報収集の力になるのではないのでしょうか。しかし、この会社一社では、他の協定している総務省などあることや体制的災害時に職員の派遣がスムーズ行われるかは極めて不確実だと思います。区は他社との協定や区自体にドローンと操縦できる職員の要請なども今後検討していきたいとしています。



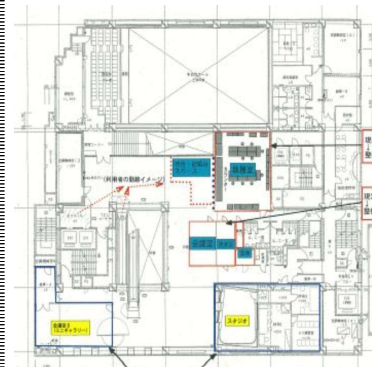
町屋区民事務所がムーブ町屋に移転計画

町屋区民事務所の老朽化が進み、再整備に。現地の建て替えが、道路付けが悪くセットバックにより敷地面積が減少すること。周辺に候補地がないこと。からムーブ町屋に移転し整備することに。

○整備内容

ムーブ町屋4Fに区民事務所を整備する。会議室A（ハイビジョンルーム）を執務室とし、隣接するギャラリー部分に待合、記載台スペースをまた、会議室、更衣室なども設置。スタジオ、会議室B（ミニギャラリー）は現状のままムーブ町屋扱いに。

開設予定は
2023年10月
予定。



現在の町屋区民事務所の概要
昭和41年建設
(築54年)
延べ床面積
300.25㎡
鉄筋コンクリート3F



○またも、緊急事態宣言が発令か！？強力な規制を補償と一体に、そして大規模な検査を実施して感染者を保護して感染拡大をとめる。当たり前の感染症対策が実施されない。一方で掛け声ばかりで国民に自粛ばかりを求める政府や東京都。世界の検査数など感染対策でも異常に低い水準です。それなのにオリンピックも中止できない。人災です。

